

# 第2次観光都市にいざビジョン（素案）パブリックコメントに提出された意見等の概要及び意見に対する市の考え方

- ・意見をお寄せいただいた方 1人
- ・いただいた意見の数（総数） 7件

No.	該当項目	素案ページ	意見（要望）の要旨	意見に対する市の考え方	件数
<b>I 策定の趣旨と観光都市にいざを取り巻く背景 — 5 第2次観光都市にいざビジョンに向けた考え方の整理</b>					
1	I 策定の趣旨と観光都市にいざを取り巻く背景 5 第2次観光都市にいざビジョンに向けた考え方の整理 【本市の強み・特色】	16	(5)を、「手打ちうどんやニンジンなど従来の新座からイメージされる産物に加え、本市の気候条件、社会的条件、歴史的必然性に裏打ちされた薬草系健康野菜（※ ノビル、ヨモギなど分類上薬草とされることのある身近な草本植物）の栽培適地です。」に代える。	薬草園（御薬園）については、『新編武蔵風土記』に記されている地名等から、旧片山地区の黒目川沿いの地域に様々な植物が繁茂していたことが想定されますが、明確な場所が特定されておらず、また、どのような植物が植栽されていたか判明していないのが実情です。 また、薬膳料理は単なる料理ではなく、食材と中薬（漢方薬）を使って健康維持や体質改善といった目的を達成するためのもので、効果的な薬膳の組み合わせを考えるための専門的な知識を要するものと考えます。 このことから、薬草系健康野菜を本市ならではの地域資源とするには不明瞭な点が多く、また、薬膳料理は専門性を必要とする事業でもあるため、市が主体となる観光施策への位置付けは難しいものと考えます。従いまして、第2次観光都市にいざビジョンは、素案のとおりとさせていただきます。 しかしながら、薬膳等にかかわらず本市に古くから伝わる食材や食文化を掘り起こし、それらを特産品づくりにいかすことは、市民の皆様を始め本市を訪れた方々にふるさと新座を感じていただく上で効果的であると考えます。 そこで、アクションプランの事業の一つとして、提出された御意見も含め、本市に古くから伝わる食材や食文化の調査・研究を進め、新座を伝える昔ながらの特産品づくりについて検討してまいります。	1
2	I 策定の趣旨と観光都市にいざを取り巻く背景 5 第2次観光都市にいざビジョンに向けた考え方の整理 【今後取り組むべき方向性】	16	「昨今の健康意識の高まりの中、 <u>地場産薬草系健康野菜による薬膳料理のまちを本市のアイデンティティとすることにより、首都圏内外からの来訪者の増加を目指します。</u> 」を付け加える。		1
3	I 策定の趣旨と観光都市にいざを取り巻く背景 5 第2次観光都市にいざビジョンに向けた考え方の整理	18	【図】第2次観光都市にいざビジョンに向けた考え方の整理に示された【本市の強み・特色】のうち、「食文化と地場産野菜」の説明を「手打ちうどんや地産農産物の他、 <u>薬草系健康野菜という本市ならではの地域資源</u> 」に変更するとともに【今後取り組むべき方向性】のうち、「 <u>新座版グリーンツーリズムの拡充</u> 」の説明を「今後本市ならではの特産品となり得る <u>薬草系健康野菜作りの推進</u> 」に変更する。		1
<b>II 第2次観光都市にいざビジョン — 5 基本方針</b>					
4	II 第2次観光都市にいざビジョン 方針3 魅力づくり 歩いて、見て、触れて、感じる魅力と仕組みをつくる	27	(2) 新座版グリーンツーリズムの推進、[主な事業]に <u>ノビルなど薬膳系健康野菜の栽培の促進を加える。</u>		1
5	II 第2次観光都市にいざビジョン 方針3 魅力づくり 歩いて、見て、触れて、感じる魅力と仕組みをつくる	28	(4) 新座を伝えるモノ・味・ワザの発掘、[主な事業]に「 <u>薬膳のまち新座</u> 」 <u>推進協議会の設置を加える。</u>		1
6	II 第2次観光都市にいざビジョン 方針5 情報発信 新座の魅力を伝え、広める	31	(1) 情報発信の強化、[主な事業]に <u>本市が薬膳のまちであることの正当性を広報する活動の推進を加える。</u>		1
7	II 第2次観光都市にいざビジョン 方針5 情報発信 新座の魅力を伝え、広める	31	(3) 外国人観光客の受入体制の整備、[主な事業]に外国人観光客向け、 <u>YAKUZEN@NIIZAの現代的意義を解説し、薬膳メニューを供する飲食店の所在地を示すガイドマップの作製、配布を加える。</u>		1